

部内 順位		優先度		評価		コメント	
----------	--	-----	--	----	--	------	--

令和 02 年度 事務事業計画書

新継区分	継続	事務事業名称	001 「村落資料」編集事業				
担当部	060000 教育委員会			課・室	060102 生涯学習課		係名 文化振興係

(1) 基本情報

事業概要	基本目標	001 人や文化のつながるまち（教育と文	施 策	004 市民文化の振興
	事務事業期間	平成21年度以前 ～ 令和04年度	会計種別	
	経費の性質	5 政策的経費	一括交付金対象	0: 対象外
	実施方法	直接実施	実施根拠 (法令や条例等)	糸満市史編集委員会設置規則
	目 的	本市域に古くからある集落に関する史資料を調査・収集し、集落の歴史的変遷、現況、風土、慣習などについての共通性や特性を明らかにする。		
	対 象	市民、市外在住者、学校関係者、マスコミ、研究者		
	活動内容	糸満市域の集落に関する史資料を収集・整理し、併せて各集落の風土・民俗等に関する調査を実施し、『糸満市史 資料編13 村落資料』としてまとめる。平成31年度は『旧真壁村編』を発行する。		
要	意図（成果）	対象者が知りたい、触れたいと思う村落の歴史・文化情報にアクセスできるようになること。		

(2) コスト及び指標

		H30年度 決算	H31年度 予算	R02年度 計画	R03年度 計画	R04年度 計画	全体 計画
実施内容		(例) 基本計画策定	『旧真壁村編』 発行に向けた調査	『旧真壁村編』 発行	『旧喜屋武村編』 発行に向けた調査	『旧喜屋武村編』 発行に向けた調査	H21年度以前 ～ R04 年度
事業費		0	5,815	9,806	6,775	6,775	0
事業費内訳	報酬	0	4,680	274	4,850	4,850	0
	職員手当等	0	0	32	663	663	0
	共済費	0	711	838	838	838	0
	報償費	0	368	368	368	368	0
	旅費	0	48	48	48	48	0
	(他 4 件)	0	8	8,246	8	8	0
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	合併特例債	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	5,815	9,806	6,775	6,775	0

活動指標	指標名	単位	区分	H30年度	H31年度	R02年度	R03年度	R04年度
	補足調査及び補筆	字	計画値	3	8	4	4	0
			実績値	3	0	0	0	0
	監修会議の実施	回	計画値	8	4	0	8	0
			実績値	8	0	0	0	0
	最終原稿の作成	%	計画値	20	100	0	0	0
			実績値	20	0	0	0	0

成果指標	指標名	単位	区分	H30年度	H31年度	R02年度	R03年度	R04年度
	発行部数	部	目標値(予測値)	0	0	800	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
			達成度 (%)	-	-	0%	-	-
			目標値(予測値)	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
			達成度 (%)	-	-	-	-	-
			目標値(予測値)	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
			達成度 (%)	-	-	-	-	-

活動指標名	単位	左記の活動指標とした理由	成果指標名	単位	左記の成果指標とした理由
補足調査及び補筆	字	原稿の完成のため	発行部数	部	発行部数を確認することにより、情報にアクセスできる。
監修会議の実施	回	原稿の完成のため			
最終原稿の作成	%	書籍の発行のため			

(3) 事前分析

妥当性	①事業を実施する妥当性	● 目的は明確で上位の施策に結びついている ○ 目的は上位の施策に結びついていない ○ 内部管理経費のため、上位の施策に結びつかない ※上位の施策とは、総合計画で掲げる25の政策中、68の施策です。 説明欄 「村落資料」の発行と歴史・文化情報の蓄積は、「市民コンセンサスを得て、複合型機能を併せ持つ施設を整備する（H30市長マニD14）」の展示機能に直結する。
	②行政が関与する妥当性	○ 法令及び条例によりサービスが義務付けられている ○ 国、県、市の協調によるもの ● 民間ではできない、または民間では実施していない ○ 民間に同様・類似のサービスがあるが、質や量等が不十分なため、補完するもの ○ 民間に同様・類似のサービスが存在する 説明欄 市史づくりは多大な費用と時間を要する事業で、民間の代替は困難である。記述内容は市域全体を公正に扱い、後世の評価に耐えられるものでなければならず、行政が行うことが妥当である。また、過去を記録するだけでなく、本市の将来あるべき姿を考える糧としてまちづくりの根幹を担うもので、行政が行うべき事業である。
必要性	③市民ニーズ	○ 市民のニーズの有無に関わらず実施する必要がある ● 市民ニーズが増加傾向にある ○ 市民ニーズが現状維持の傾向にある ○ 市民ニーズが減少傾向にある ○ 市民ニーズを把握していない 説明欄 ○各字の拝所、旧跡、慣習、歴史的変遷などについて、市民や観光客等から問い合わせが多数ある。研究者などによる史資料の照会も多く、関係資料の整理と情報の発信が望まれている。 ○既刊の『村落資料 旧兼城村編』、『同 旧高嶺村編』、『同 旧糸満町編』は多くの市民に好評で、後続編を期待する声が多く寄せられている。
	④現時点での優先性や緊急性	○ 緊急事態への対応、最重要施策など最優先して実施する必要がある ○ 日常的な安全、生活を確保するために実施する必要がある ● 公共サービスの平均的水準を確保するために実施する必要がある ○ 現時点での優位性や緊急性は低いものの、市の将来のために実施した方がよい ○ 現時点では必ずしも実施しなくてもよい 説明欄 戦前の暮らしなどの歴史・文化情報を語る人材は高齢化が進んでいる。村落の歴史・文化情報を速やかに確保する必要がある。
公平性	⑤事業を実施する公共性	● 広く市民を対象としていることから適切である ○ 事業の対象が特定されているが、受益者には応分の負担があり適切である ○ 事業の対象が特定されているが、受益者には応分の負担となっていないため、見直しの余地がある ○ 受益と負担の適正化を求める事業ではない（社会福祉等を目的とする事業など） ○ 公平性の評価になじまない（内部管理業務など） 説明欄 市史の講読には一定の年齢と読解力を要するものの、特別な要件ではない。可能な限り平易な表現で親しみやすい市史づくりを進めている。
効率性	⑥事業の成果を低下させずにコスト削減を図っているか否か	○ かなり削減できる ○ あまり削減できない ○ 効率性の評価になじまない ○ ある程度削減できる ● 削減できない 説明欄 資料整理や情報発信のために不可欠な数値である。
	⑦類似事業との関連性・連携	○ 類似事業はない ● 類似事業がある ※類似事業がある場合、関連や連携のあり方を下記に記載ください。 説明欄 市史編集推進事業、生活感幸（観光）環境づくり事業と関連し、それぞれの事業で得られた情報を応用できる。
課題等の有無	⑧事務事業を実施するうえでの課題・懸念材料等の有無	● 課題・懸念材料等がある ○ 課題・懸念材料はない ※課題・懸念材料等がある場合、詳細を下記に記載ください。 説明欄 ○聞取り対象者が高齢化している。 ○各字の伝統行事は最低2年間を要する。

事業名称	001 「村落資料」編集事業
------	----------------

令和02年度予算要求

(単位：千円)

財源内訳 (歳入予算一覧)	財源区分	科目名称	充当額	前年度充当額	差額
一般財源	一般財源		9,806	5,815	3,991
充当合計額(事業費)			9,806	5,815	3,991

事業費内訳 (歳出予算一覧)	節・細節・細々節 / 積算式	要求額	前年度予算額	差額	前回内示額
コード	名 称				
01	報酬	274	4,680	▲4,406	274
001	報酬 市史編集員 7,587円×12月=91,044円 主任市史編集員 3,174円 × 12月=38,088円 市史編集嘱託員（「村落資料」編集業務対応分） 21h×1,361円×100%×1人+20h×1,361円×125%×1人=38,088円 主任市史編集嘱託員（「村落資料」編集業務対応分） 21h×1,751円×100%×1人+20h×1,751円×125%×1人=80,546円	274	4,680	▲4,406	274
03	職員手当等	32	0	32	32
001	職員手当等 市史編集員 26,298円×1人=26,298円 主任市史編集員 5,363円×1人=5,363円	32	0	32	32
04	共済費	838	711	127	838
001	共済費 市史編集嘱託員 375,432円×人 ※詳細は会任職調書参照=375,432円 主任市史編集嘱託員 461,739円×人 ※詳細は会任職調書参照=461,739円	838	711	127	838
07	報償費	368	368	0	368
001	報償費 6,000円（琉大教授）、2時間、1人、8回、8,000円（交通費） 6,000円×2時間×1人×8回+8,000円=104,000円 4,000円、2時間、1人、8回、8,000円（交通費、宜野湾市） 4,000円×2時間×1人×8回+8,000円=72,000円 4,000円、2時間、3人、8回（市内） 4,000円×2時間×3人×8回=192,000円	368	368	0	368
08	旅費	48	48	0	48
001	旅費 糸満市史嘱託員・糸満市史主任嘱託員各1人、週5日勤務 2,000円×2人×12月=48,000円 0円	48	48	0	48
10	需用費	8,233	5	8,228	8,233
001	需用費 1式 5,000円=5,000円 0円 『糸満市史』印刷（印刷製本・CD作成）3者見積 (7,400,000×1.1+7,480,000×1.1+7,560,000×1.1)/3	8,233	5	8,228	8,233
11	役務費	3	3	0	3
001	役務費 通信運搬費 切手代 3,000円=3,000円	3	3	0	3
12	委託料	0	0	0	0
001	委託料	0	0	0	0
事業費合計		9,796	5,815	3,981	9,796

事業費内訳 (歳出予算一覧)	節・細節・細々節 / 積算式	要求額	前年度予算額	差額	前回内示額
コード	名 称				
13	使用料及び賃借料	10	0	10	10
001	使用料及び賃借料 国立台湾大学図書館所蔵資料 1点につき1,600元、使用予定画像1点 1元=約4円（1,600元=約6,400円）、ただし国外のため概算で計上。 一式10,000円=10,000円	10	0	10	10
事業費合計		9,806	5,815	3,991	9,806

メモ

確認事項	各課回答

その他・備考

--